

# あさか外来通信

RI.10月号

インプラントを  
お勧めする理由



歯を失ってしまった時  
その部位を補う方法は  
大きく分けて3つ！  
それぞれに特性があり、  
患者さんごとに最適な  
治療方法をご提案させて  
頂いております。

- ★ フリッジ
- ★ 入れ歯
- ★ インプラント



## それぞれのメリット★デメリット

	メリット○	デメリット×
フリッジ	固定式のため、違和感が少ない。 素材を選択すれば（自費診療）、 天然の歯に近づけることもでき、 審美的にも良い○	土台が必要なため、両隣に自歯が なければ作製出来ない。また土台 となる歯は健康であっても削らな ければならない。被せ物の下に、 汚れが溜まりやすい。
入れ歯	フリッジでは対応出来ない、本数 の多い欠損にも対応が出来る。 フリッジのように健康な歯を削る 必要はない。	噛む力は、自歯の3割程度。 入れ歯のパネをかける歯に負担が かかる。はじめのうちは、痛みや 違和感が生じる場合がある。食べ 物が挟まりやすい。
インプラント	周りの歯に負担をかけない。 見た目も噛む力も、自分の歯と ほとんど変わらない。他の補綴物 に比べ歯磨きがしやすく衛生的。 虫歯になることはない。	インプラント（土台）を、骨に埋め る手術が必要。 医療保険適用外の為、自費診療。

インプラントは、周りの歯に負担をかけない治療法です。  
ご自身の歯を出来る限り長く使っていきたい方に最適です！

## インプラント埋入後、歯が入るまでの期間は？

従来の治療方法ですと、インプラント（土台）を埋入してから歯が入るまで  
は3~4ヶ月間ほどの治療期間が必要で、その間はインプラント部分に歯が  
無かったり、仮の入れ歯を使用してお過ごしいただいております。

当院では、手術を行ったその日に仮歯をつけて、見た目と  
噛む機能をすぐに取り戻すことが出来る「イミディエート・  
ファンクション」という最新の治療方法を導入してありま  
す。埋入したインプラントが骨と結合するまでの数ヶ月間  
も、日常生活に支障をきたしません。



## 骨増生手術 GBR法って何？

歯を失ってから時間が経過すると、歯槽骨（歯を支える骨）が吸収され、無  
くなっていきます。歯槽骨が不足していると、インプラントを埋入した時に  
土台が骨から露出してしまいます。GBR法は、不足している骨の再生を促し、  
インプラントの安定を図ったり、感染を予防する治療方法です。



骨が不足している部分に、粉碎した自家骨もしくは骨補填材を置き、その上  
にメンブレンという人工膜を置きます。歯肉などの柔らかい組織が混入しな  
くなるので、骨の再生が促進されます。個人差がありますが、4~6ヶ月で  
歯槽骨が再生されインプラントの安定性が確保されます。

※ 適用可能な場合と、  
そうではない場合があります。  
詳しくは、担当の歯科医師へ  
お尋ねください。

過去の外来通信・医院についてはこちら

